

第4回 子どもみんなプロジェクト in 鳥取 — 情動機能の発達と支援 —
平成30年12月9日（日） 鳥取大学地域学部棟 5160 教室

参加者の声（一部抜粋）

- 支援学級を担当し、通常学級で支援を要する子どもに関わっています。科学的、理論的な話が聞けて本当に参考になることばかりでした。その子の将来、多様性が受け入れられる学級、学校、社会をみんなで作っていききたいと思いました。（小学校教諭）
- 子どもの抱える問題について、色々な専門職が周りにいて、色々な関わり方、考え方、アプローチの仕方があるので、予防的に関わっていくことも大切だと感じました。楽しく学ぶことができ、明日からできることは取り入れていききたいと思いました。（スクールソーシャルワーカー）
- 脳科学的なエビデンスを含めた、音楽と人間の情動の関係、音楽とリズムと言語回路の関係への示唆など、そして音楽という文化が生まれた意味についてとても刺激を受けました。シンポジウムもそれぞれの先生から多くの学びをさせていただきました。（教員）
- 保育士として、今関わっている子どもたちや自分の保育を思い返しながらお話をお聞きしました。子どもたちを理解していくためのヒントや、今後の保育の視点を得られたように思います。貴重な学びをさせていただきました。（保育士）
- 学びの多様性、正解の多様性すごく素敵な学びができました。ありがとうございました。子どもみんなプロジェクト in 鳥取に今後も期待しています。（法務教官）
- 大変おもしろく、どの講演も興味ある内容でした。普段、特性のある子どもたちに多く接している毎日ですが、これから何をしていけばよいか、どういう視点で向き合っていけばよいかが見えてきたように思います。あっという間の4時間半でした。（教員）
- とても興味深く勉強になりました。人と音楽の関係や脳については、科学的に色々研究されていてもっと知りたいと思いました。学校の先生の大変さも感じながら、「同じ」や「一緒」という言葉についても、良いイメージしかなかったので、納得できる内容でした。自分の考え方や今までの教えなどが、見直すきっかけになりました。（理学療法士）
- 子どもの感情に周りが気づき、人の気持ちを本人に気づいてもらうことが大切なのだと改めて感じました。子ども達と関わる上で気をつけたいと感じました。（作業療法士）
- 各分野の第一線で活躍されている先生方の貴重なお話をきくことができて、大変勉強になりました。今後も鳥取の地でこのような質の高いお話がきけることを楽しみにしています。（教員）

- 遠方から参加しましたが、とても有意義なお話ばかりでした。発達障がいのある子は、どうしても自信や自己肯定感（有用感）をもちにくいというお話もありましたが、その点をテーマにまた機会があれば深く学びたいと思いました。（教員）
- とても学びの多い時間でした。どの講話も“情動（心の揺れ動き）”“感情理解（何を表出しているのか）”について触れておられ、繋がる内容もたくさんあったように思いました。特に印象的だったのは、「不器用さによって失われたものを自信によって取り戻す」というお言葉でした。ないものばかりに目を向けることが、これから吸収できるはずのもの（可能性）を狭めていたのではないかと気づかされました。（幼稚園教諭）
- 気になる子どもとの関わりを思い浮かべながら話を聞くことが出来ました。不快な刺激は避け、情緒を安定させる刺激を与えることの大切さ。あたり前の行動をしっかりほめることの大切を認識しました。1叱って9ほめることを意識して、今後の保育にいかしていきたいと思いました。（保育士）
- 仕事の中で ASD のお子さんに接することが多く、コミュニケーションの方法や、接し方についていろいろ迷うことがあります。今回の講演では、音楽の潜在的な能力や、現代の子どもたちが抱える心の問題についてなど普段の仕事に活かせることがたくさんありました。“心の充実感”というのが、人が人らしく生きていくためにはとても大切なことだと改めて思いました。（言語聴覚士）
- 外側から見えにくい心のことを、大変わかりやすく学ぶことができました。「自分のことより人のこと」という教育をしてみたいがちですが、まずは自分自身、大事にできるような心の強さをもてるようにしていきたいと思いました。（保育士）
- 音楽の話をもっと聞きたかったです。もっともっともっと聞きたかったです。学校から音楽・芸術をなくしちゃいけませんね。「違う」があたり前！！本当に。今日は本当に来て良かったです。（特別支援学校教諭）
- バリエーションに富んだ内容で、いろいろな方向からの示唆をうかがうことができたプロジェクトでした。また参加したいです。（学校関係者）
- 苦しんでいる子どもの現状を少しでも軽減させていきたいという思いで受講しました。私だけではできないことも多いですが、伝えていきたいと思えます。（保育士）
- 音楽や多様性、やりとりの楽しさを教えることの重要性など、とても分かりやすく楽しく教えてもらえて良かったです。（言語聴覚士）
- 自分の中で子どもを見る視点が増え、幅も広がるような内容で大変参考になりました。（特別支援学校教員）